

オカピ通信

第2号
(2023年7月
活動まとめ)



「プラスチックを調べよう」
はこちらから見られます。

夏休みは講座の季節

7月下旬以降、子供向け講座を

市内各地で行っています

猛暑の中始まった夏休みシーズン。冷房を効かせた自宅に引きこもっていたところですが、今年は子供たちがオカピを待っています。

▽夏休みは学校では学べないことを学べる絶好の機会です。私が企画した、日置市のごみ処理施設やリサイクル施設を見学する連続講座「わたしたちのごみのゆくえを見よう!」のほか、市内各地の公民館や児童クラブ等での講座も目白押しです。

▽講座は基本的に、「お話し+工作」のスタイル。はじめのお話パートでは、プラスチックは便利、でもその性質ゆえ

に問題を引き起こしている、という内容のお話を、吹上浜の様子など身近な話題から展開しています。

▽後半の工作パートでは、ペットボトルのフタや肥料袋などの身近な素材からキーホルダーやポーチなどを作る体験を提供しています。普段なかなかできない、「プラスチックを溶かす」経験を通じて、「プラスチックという素材やその奥につながる問題に意識を向けるきっかけを提供したいです。」

卓上射出成形機 大活躍



市内各地のイベントや講座に連れまわしているのが、この卓上射出成形機です。5分に1回ほどのペースで、小さな金型に最大9mmほどのプラスチックを射出できます。

▽BusterBeagle3Dというウェブサイトの情報などを参考に、市販の道具などを組み合わせて自作しました。作業場所を使えるようになる前に、自宅の一室で、限られた道具で作ったこともあり、作りがだいぶ華奢です。ハンドルがねじれるなど、だいぶガタが来ています。

▽講座のシーズンが明けたら、より使いやすく頑丈な2代目を製作する予定です。

自由研究の友を公開

「プラスチックを調べよう」

夏休みの宿題におけるラスボス、「自由研究」のお助けアイテムとなる小冊子を公開しました。その名も「プラスチックを調べよう」です。自分の家にあるプラスチック製品を調べるなど、いくつかの調べものを通して、暮らしとプラスチックの関係性を考え直す内容です。

▽冊子に沿ってじっくりと取り組めば、きっと先生も満足してくれるはず。プラスチックごみから作る工作のレシピ付きです。

▽Google Driveで共有しているので、気になる方はダウンロードしてください。上のQRコードからアクセスできます。

著者中...

遠いことは伝えにくい

講座の資料を作りながら、プラスチックの問題は、「遠い」問題だと感じていました。

オカピの目

約10か月ぶりに東京に帰省しました。約5日間、プラスチックごみに触れずに家族や友人とのんびり過ごしました。

プラスチックによる影響を大きく受けているのは、私達の生活圏から遠く離れた海外の貧しい人々や海の生き物たちなので、リアルな問題として捉えづらいのではないかと思います。プラスチックは誰もが使うものなので「私だけが手間をかけてプラごみを減らしても効果はない」と感じてしまいがちでもあります。

久しぶりに自分の進路を俯瞰してみたりしました。生まれつつある地域での繋がりを活かしてこのまま鹿児島に定住するのか、家族がいる東京で、新たな繋がりをつくるのか。そもそもプラスチックの活動をどのよう

に続けていくのか? 先のことを見つめながら、日置市での活動を一つひとつ進めていこうと思います。

製作:岡田香織(サキガケ日置市(移)民) ご意見等は okadakaori.p@gmail.com まで。